学校番号	323

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「倫理」　（東京書籍）						
副教材等	テオーリア　最新倫理資料集　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人間の生き方・世界に対する見方・社会の捉え方など古代より様々な人々が、様々な形で「真理」「生き方」などを考えてきた。そうした思想の世界に触れる中で、印象深い考え方・言葉を見つけ出し、倫理の学びをさらに深めてほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
倫理的思考の土台となっている源流思想について、基本的な内容を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
日本人の倫理観の特徴を捉えるとともに、外来思想の受容についても理解を深める。
【学びに向かう力、人間性等】
上記の学習をふまえて、現代の諸課題を自ら探究する力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	様々な思想内容・宗教などの特徴が知識として定着しているか。 ・心理学分野では、「自分と周りの関係性」により心がどのように動く傾向があるか。 ・思想と宗教の分野では、各々の特徴を「地域と時代背景」と関連付けた知識として定着させることができるか。 ・現代の諸課題の分野では、主に「科学技術の進歩と倫理の関係性」の中でまなぶことができるか。	それぞれの宗教・思想内容の特徴を的確に理解し、それを自分の言葉で表現することができるか。 よりよい生き方やそれに付随する権利義務は地域・時代背景によって異なる。その中で自分の考えと、自分とは異なる考えを見つめ、双方同時の理解を深めることができるか。	思想家の思想内容・言葉の意味について積極的に理解しようと努めているかどうか。 国際社会には平和な地域・紛争地域など社会情勢の異なる地域が混在する。倫理での学びをもとに自らの居住地域だけでなく、多様な社会情勢について積極的に理解を深め、国際社会で活躍するための力を主体的に養うことができるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	さまざまな人間の心のあり方	1発達の心理学 2認知の心理学 3人格の心理学 4感情の心理学	a:最新の心理学の内容を積極的に理解する b: 最新の心理学の内容を的確にまとめ、自分自身と、集団の中での自分についての理解を深めることができる。 c:最新の心理学の成果をもとに、社会と自分の関係性と、社会の中での自分の生き方を理解・実現する態度を養う。	定期考査	定期考査(論述など) レポート課題、討論、発表	レポート課題、討論、発表 学習の振り返り
	さまざまな人生観	1古代ギリシアの思想 2キリスト教 3イスラーム 4古代インドの思想と仏教 5中国の思想	a:地域性・時代背景をもとに思想内容を積極的に理解する。 b:各思想の内容を的確にまとめ、それぞれの差異を自分の言葉でまとめる。 c:各思想の特徴の学びをもとに、現在の国際社会が抱える課題を主体的に考察する。	定期考査	定期考査(論述など) レポート課題、討論、発表	レポート課題、討論、発表 学習の振り返り
2学期	さまざまな倫理観・世界観	1理性への信頼と人間の尊厳 2自然・科学技術と人間 3個人・社会と自由 4民主社会の倫理 5現代思想の流れ 6現代社会の生き方	a:思想内容を積極的に理解する。 b:近代社会の出発点となった「人間の尊厳」という思想を、古代から思想の変遷との比較で理解する。 c:「人間の尊厳」にともなう権利義務についての理解を積極的に深め、社会における自分自身の権利義務を主体的に考察する。	定期考査	定期考査(論述など) レポート課題、討論、発表	レポート課題、討論、発表 学習の振り返り

	国際社会に生きる日本人としての自覚	1日本の風土と古代日本人の考え方 2仏教の受容と展開 3儒学の受容と国学の発達 4西洋思想の受容と近現代の日本の思想	a:日本独自の思想内容の発展を、地域性を背景として理解する。 b:日本独自の思想に、外来の思想・宗教である仏教・儒学・西洋思想などが取り込まれることで日本社会がどのように変遷していったかを理解する。 c:この単元の学びを通して、現在日本の文化を構成する様々な要素を理解し、自らの属する文化への学びをさらに深めようとする態度を養う。	定期考査	定期考査(論述など) レポート課題、討論、発表	レポート課題、討論、発表 学習の振り返り
3学期	現代の諸課題と倫理	1生命をめぐる諸課題 2自然をめぐる諸課題 3科学技術をめぐる諸課題 4福祉をめぐる諸課題 5文化と宗教をめぐる諸課題 6平和をめぐる諸課題	a:現代社会が抱える諸問題を積極的に理解する。 b:現代社会が抱える問題に、環境・科学技術の進歩・社会情勢の変化・各地域の文化が密接に影響していることを理解する。 c:自らの人間性とこの単元での学びをもとに、自分自身が社会の中で解決や改善に貢献することのできる問題を探究し、社会の一員として活躍しようとする態度を養う。	小テスト	小テスト(論述など) レポート課題、討論、発表	レポート課題、討論、発表 学習の振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度